



地域の緑を大切に

よこ
(枉松公園の消毒風景)

きずな



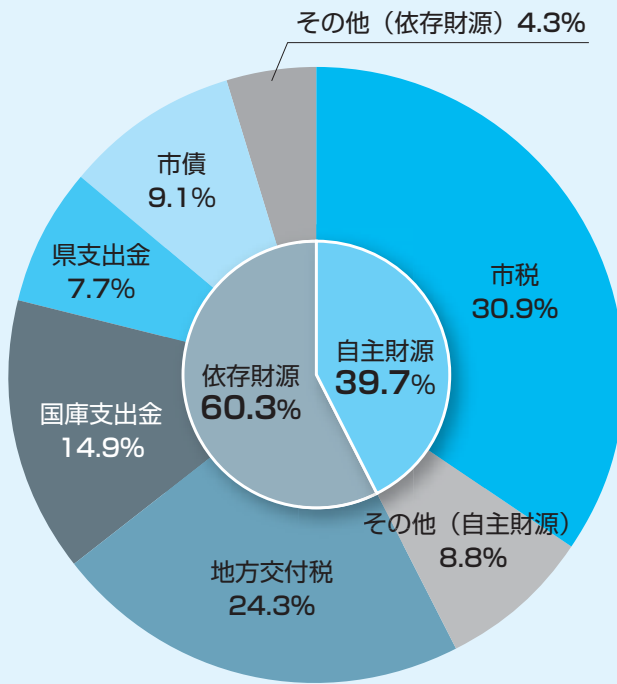
合志市 議会だより 第27号

2012年9月定例会

- 条例、補正予算、決算、人事…………… 2～4
- 表決結果・賛否表…………… 5
- 委員会報告…………… 6～10
- 一般質問 …………… 11～17
- あん質問はどぎゃんかった 追跡…………… 18
- 議会の動き・主な行事 …………… 19

歳出決算を認定しました

一般会計歳入



決算書より

万円の増) 歳出:166億7963万円(対前年比4億5014万円の減)

(単位:千円、%)

区分		23年度実績	22年度実績	前年率
自主財源	市税	5,788,985	5,175,621	111.9%
	その他	1,651,661	1,200,352	137.6%
	計	7,440,646	6,375,973	116.7%
依存財源	地方交付税	4,564,122	4,280,907	106.6%
	国庫支出金	2,785,167	3,177,475	87.7%
	県支出金	1,452,308	1,637,740	88.7%
	市債	1,714,994	1,814,598	94.5%
	その他	792,793	819,781	96.7%
	計	11,309,384	11,730,501	96.4%
	合計	18,750,030	18,106,474	103.6%

※自主財源の市税が前年比111.9%と伸びています。法人市民税が対前年比で5億2400万円増加したのが主な要因です。

平成22年度の法人市民税が低かったこと、企業業績が回復したことが要因として上げられます。景気回復、雇用の増大により個人市民税が増えればいいですね。

9月定例会は、8月31日から9月21日までの22日間の会期で開催しました。合志市暴力団排除条例の一部を改正する条例ほか条例2件、24年度一般会計・特別会計の補正予算7件、平成23年度決算8件および人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることなど人事3件、そのほか合志市道路線の廃止など併せて合計26件が上程されました。また陳情1件について審議しました。いずれも原案を可決・承認しました。

最終日に合志市地産地消推進条例ほか1件、及び議員提出議案「いじめ防止対策強化を求める決議」ほか1件が追加提出され全件可決となりました。

一般質問は13人が市政に関する問題を質問しました。

平成24年第3回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
8	31	金	本会議	市長提出議案上程及び説明
9	6	木	本会議	質疑、委員会付託
	7	金	常任委員会	付託事件の審査
	10	月		
	11	火		
	14	金	本会議	一般質問
	18	火		
	19	水		
	21	金	本会議	委員会報告(質疑、討論、表決)

24年度 一般会計補正予算

(第3号)

補正額 **231,629千円**

予算総額 **16,521,992千円**

主なもの

◎児童発達支援・放課後等デイサービス
給付

.....**24,000千円**

◎認可外保育施設活用入所措置事業

.....**6,975千円**

◎家庭的保育(保育ママ)入所措置事業

.....**19,904千円**

◎災害復旧工事

.....**51,970千円**

◎公園用地購入費

.....**9,366千円**

条例改正

合志市下水道条例の一部改正

本市の下水道使用料金は県内でもっとも低い水準にあります。平成23年度より上下水道事業審議会を経て、下水道事業の経営状況と市の財政状況を踏まえ、料金改定(値上げ)を実施するものです。

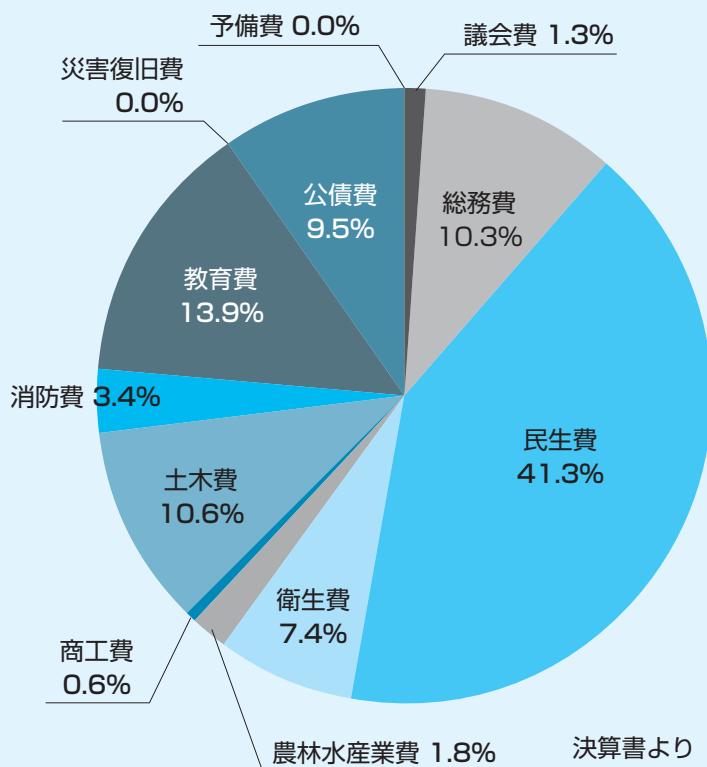
施行日は平成25年4月1日

合志市農業集落排水処理施設 条例の一部改正

合志市下水道条例の一部改正と同様の理由から使用料を改正するものです。

平成23年度 合志市一般会計歳入

一般会計歳出



※平成23年度決算は歳入:187億5003万円(対前年比6億4355

(単位:千円、%)

区分	予算額	支出額	不用額	執行率
議会費	227,248	224,904	2,344	99.0%
総務費	1,752,097	1,721,533	30,564	98.3%
民生費	6,966,269	6,885,725	80,544	98.8%
衛生費	1,250,604	1,227,524	23,080	98.2%
農林水産業費	301,032	296,238	4,794	98.4%
商工費	99,267	96,176	3,090	96.9%
土木費	1,952,520	1,767,200	94,490	90.5%
消防費	563,724	559,424	4,300	99.2%
教育費	3,921,340	2,322,354	117,622	59.2%
災害復旧費	700	0	700	0.0%
公債費	1,583,578	1,578,557	5,021	99.7%
予備費	12,381	0	12,381	0.0%
合計	18,630,760	16,679,637	378,928	89.5%

※「不用額」とは自治体の決算書における、予算額と実際に支出した額の差額のことを言います。

土木費の執行率90.5%の主な要因は用地費、補償費の繰越と、工事請負費入札残等です。

教育費の執行率59.2%と著しく低い要因は学校給食センター建替事業その他3件、平成23年度から24年度に14億8136万円繰り越したためです。

陳情・決議

熊本県へ子ども医療費完全無料化を
就学前まで拡充することを求める
意見書提出に関する陳情

陳情者 新日本婦人の会 坂本 茂子

熊本県は、子ども医療費補助が遅れているため、就学前まで拡充すること
を求める。

採択

いじめ防止対策強化を求める決議

提出者 合志市議会議員 松井美津子

他10人

いじめを苦に自殺する子どもが出る中、子どもをいじめから守り、いじ
めのないまちになるよう最大限努力することを求める。

議決

条例制定

合志市地産地消推進条例

可決

安全・安心な食が求められる中、命と食の大切さを再認識し、
生産者、事業者、市民が相互に協力し合い、地産地消の推進
を図るための条例

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

坂井眞壽子氏（御代志）

うえむら

ひさえ

上村 久枝氏（野々島）

なかむら

とくお

中村十九男氏（須屋）

推薦

平成24年第3回定例会
主な審議案件と議決結果

	審 議 案 件	議決結果
条 例 4件	合志市暴力団排除条例の一部を改正する条例 ほか3件	原案可決
予 算 7件	平成24年度合志市一般会計補正予算(第3号) ほか6件	原案可決
認 定 8件	平成23年度合志市一般会計歳入歳出決算 ほか7件	原案認定
諮 問 3件	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること ほか2件	原案同意
陳 情 1件	熊本県へ子ども医療費完全無料化を就学前まで拡充することを求める意見書提出に関する陳情	採 択
議員提出議案 2件	いじめ防止対策強化を求める決議 ほか1件	原案可決
その他 4件	合志市道路線の廃止 ほか3件	原案可決
報 告 2件	平成23年度合志市下水道特別会計継続費精算の報告 ほか1件	報告終了

賛 否 表

- 議案第42号 合志市暴力団排除条例の一部を改正する条例
- 議案第43号 合志市下水道条例の一部を改正する条例
- 議案第44号 合志市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例
- 議案第45号 平成24年度合志市一般会計補正予算(第3号)
- 認定第1号 平成23年度合志市一般会計歳入歳出決算
- 認定第2号 平成23年度合志市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 認定第3号 平成23年度合志市介護保険特別会計歳入歳出決算
- 議案第4号 平成23年度合志市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 議員提出議案第5号 いじめ防止対策強化を求める決議

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	西 島 隆 博	松 本 龍 一	後 藤 修 一	濱 元 幸 一 郎	上 田 欣 也	青 木 照 美	坂 本 早 苗	尾 方 洋 直	濱 口 正 晴	坂 本 武 人	吉 永 健 司	神 田 公 司	来 海 恵 子	木 場 田 孝 幸	松 井 美 津 子	木 村 祐 一	今 村 直 登	丸 内 三 千 代	東 孝 助	島 田 敏 春
議案第42号	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	可決	15:5	○	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第44号	可決	16:4	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第45号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
認定第1号	認定	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
認定第2号	認定	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
認定第3号	認定	18:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
認定第4号	認定	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○
議員提出議案第5号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

※起立採決を行ったものに限ります。(○は賛成 ●は反対)

※池永幸生議員は議長職のため、表決には加わりません。

総務常任委員会

合志市暴力団排除条例の一部を改正する条例について

反対討論 この条例自体に反対であるので、今回も認めることが出来ない。

賛成討論 今回の改正は、内容の改正ではなく条文の番号だけの変更のため、何ら異論はない。

平成24年度合志市一般会計補正予算について

(まちづくり戦略室)

問 報償費の「原画作成謝礼」とあるが、寄贈して頂いたものに謝礼金を出すのはなぜか説明を。

答 なかじま氏から、紙に書かれた絵、童話としての話、デジタル作品としてのデータの3点を受け、絵と話は寄贈を受けたが、デジタルデータについては、なかじま氏のご好意により、使用許諾を頂くことになり、それに対し謝金として予算の計上をしている。

問 内容は理解したが、節の「報償費」と、説明文の「原画作成謝礼」は、不適ではないか。

答 寄贈して頂いた、なかじま氏の心情を考慮すれば、今回の内容で該当する費目は「報償費」ではなく、あくまで「謝礼」として先方にお渡しして、市としての感謝の気持ちを表したい。また、委員会指摘の補正予算説明資料の文言

を、「なかじま氏作品使用許諾謝礼」と訂正をお願いしたい。

(企画課)

問 セミコンテクノパークエコ通勤実証実験協議会負担金とは。

答 熊本県、菊陽町、合志市、それから、セミコンテクノパークの企業協議会の協力で事業を計画していて、光の森駅から、テクノパーク内までをシャトルバスで朝夕に8便、マイクローバス2台にて運行し、来年1月上旬から3月までの40日間(平日のみ)、料金100円を予定している。主にセミコンまでの交通渋滞緩和を目的に検証するもので、セミコンの従業員にアンケートを取る予定であり、補正が承認されたら、協議会に参加の予定です。また、県としては、県内各地にこのような実験を行いたい意向である。

(商工振興課)

問 総合健康センター施設修繕費負担金は、レジオネラ菌発生問題関連であるが、責任の所在は議論したのか。また、耐久年数による修繕ではないが、追加での資金投入は妥当なのか。

答 責任問題に関した処分はない。保健所の指摘では塩素濃度に問題があったとのことで、固形物投入方式から液体注入方式に変更するように指示があったので、設

備に問題があったと認識しているので、協定に基づき30万円以上の修繕に市が負担することには問題ないと考える。現在、検査頻度を増やして万全の体制をとっている。

反対討論 総合健康センター施設修繕費負担金の支出について、認められない。

賛成討論 協定に基づいた支出であり、賛成する。

平成23年度合志市一般会計歳入歳出決算について

(財政課)

問 合志庁舎1階の喫煙所等で来庁者から苦情が出ないようにしてほしい。分煙は当然必要だが、喫煙場所を完全に整備してほしい。

答 大変苦慮している。今後、検討していきたい。

(税務課)

問 安易に不納欠損をしないように。また、徴収業務でトラブルはないか。

答 調査をすべて行い、適切に滞納処理に当たるように指示している。今のところ大きなトラブルはない。

(環境衛生課)

問 太陽光発電に対する補助は、国、県、市、合わせてどれ位なの



合志庁舎 喫煙室

か。
答 設備内容によって、違いはあるが、平均で1割強の補助となっている。

反対討論 市民課、須屋支所土地借り上げ料、及び、住民基本台帳ネットワークの予算に反対のためと、商工振興課、総合健康センター修繕費の支出も承認できない。

賛成討論 須屋支所土地借り上げ料は契約を交わした上での支払いで問題なし。住民基本台帳ネットワークは、国と自治体を結ぶもので、今後必要な事業である。総合健康センター修繕は、協定どおりの負担であり、賛成する。

産業建設常任委員会

合志市下水道条例の一部を改正する条例について

問 基本料金100円アップ、超過料金1㎡当たり20円アップで使料収入はどれ位増加するのか。また、今後3年毎に料金改定があるのか。

答 年間収入増は約1億円、料金は国の指針で2〜4年毎に見直すことが望ましいとされているが必ず上げるということではない。

反対討論 上下水道事業運営審議会でも反対した。また水道と下水道が同時支払いとなっているので生活不安が懸念され反対である。

賛成討論 現在、汚水処理費の回収率が約70%と低く、一般会計からの基準外繰入金で賄っている分を少しでも抑制することは必要なことで賛成である。

平成24年度合志市一般会計補正予算について

(農政課)

問 7・12大水害の状況は。

答 災害箇所は22件で、内訳は国の補助事業対象が5件(水路2件、農道3件)、市単独事業が17件(水路4件、農道12件、調整池1件)で、補助事業については国の査定が10月の予定なので実施はそれ以降となる。

(建設課)

問 大水害の状況は。

答 復旧工事が必要な災害箇所は34件で、内訳は国庫補助申請予定が2件(路肩崩壊)、市単独事業が32件(法面崩壊26、その他6)で、国の査定は9月19日机上査定で行われる。



立割菰迫線(路肩崩壊)

平成23年度合志市一般会計歳入歳出決算について

(農業委員会事務局)

問 農用地利用集積助成事業で毎年、約40haがこの事業に該当しているが、今年から「人・農地プラン」で更に農地集積が進んでいく。

「人・農地プラン」にこの事業が加算されると考えていいのか。

答 内部検討中で、「人・農地プラン」の進展を見て決めていきたい。

(農政課)

問 土地診断助成事業の執行率が低かったが、今年度は増えるのか。

答 適正な施肥管理や硝酸性窒素による地下水汚染などの環境への負荷軽減を図るため、土壌診断にかかる経費に対して今年度はPRしていく。

(建設課)

問 適正な道路維持事業の人員配置は。

答 平成23年度は嘱託職員6名を雇用し、2チームの体制だったが、平成24年度も嘱託職員3名を雇用し、2チームとシルバー人材センター委託で道路、水路の維持補修、道路の草刈等を行なっている。

(都市計画課)

問 市街化調整区域活性化連絡協議会負担金で東部地域活性化ビジョンの策定に着手とあるが、東部とはどこのエリアになるのか。

答 市街化調整区域活性化連絡協議会というのは合志市、菊陽町、益城町、嘉島町の1市3町で設立しており、熊本市の東部に位置することから東部地域としています。この1市3町は同じ熊本市計画区域に属しており、県に対して市街化調整区域の規制緩和を求めています。東部地域を一体として規制緩和に向けたプランを作成する必要がありますことから、東部地域活性化ビジョンの策定に着手した。

平成23年度合志市下水道特別会計歳入・歳出決算について

問 長寿命化計画策定業務委託というのはどういう内容なのか。

答 国の制度が終末処理場、ポンプ場などの、下水道施設の改築更新に際しては将来にわたる適正な維持管理を前提とした計画に基づいて実施することと変わってきている。平成25年度からこの長寿命化計画がないと国の補助対象事業とならないため、平成24年度までにその計画を立てるための業務となっている。



完成した「塩浸川浄化センター増設工事」

健康福祉常任委員会

平成24年度合志市一般会計
補正予算について

(子育て支援課)

問 認可外保育施設活用入所措置事業とは。

答 平成23年4月から開始された『国と自治体が一体的に取組む待機児童解消「先取り」プロジェクト』事業の一つで、平成24年度から新たに事業を開始する場合は、平成23年4月以降に新設、または定員が増えた認可外保育園で、認可保育園並みの施設が整っている施設が要件です。合志市内には菊池恵楓園内にある「かえでの森こども園」しか該当せず、この事業によって30人の受け入れを予定し、待機児童の解消につながるの



かえでの森こども園

(福祉課)

問 児童発達支援・放課後等デイサービス給付とは。

答 法の改正があり、昨年度まで市町村の事業として行っていた児童デイサービスと県が行っていた通所サービスが身近にサービスが行えるよう、市町村事業として児童発達支援事業と放課後デイサービスになりました。また、去年まで主に菊池市の「輝なっせ」の施設利用者が多かった上記の事業を今年度から合志市社会福祉協議会が「れんがの家」で始めたため利用者が増えています。

(健康づくり推進課)

問 心の体温計の詳細と、パソコンのない人にはどう対応するのか。

答 心の体温計は、うつ対策や自殺予防対策としてこの健康状態をチェックするプログラムです。東海大学が開発し、市のホームページにアップして自分でチェックでき、相談できる場所につなぐシステムで、議会の承認をいただいたら10月から運用できます。パソコンのない方には、図書館のパソコンなどを使えるようにしたいと思います。

平成23年度合志市一般会計
歳入歳出決算について

(子育て支援課)

問 こども医療費が138,062件、約2億4,000万円使われて増えているが、現物給付との関係は。

答 23年4月から現物給付を就学前から小学6年生までに拡大し、そればかりが要因ではないが医療費が2,500万円ほど増えています。

(高齢者支援課)

問 高齢者支援課の決算を見て、対象者・費用などの伸びの分析はあるか。

答 22年度に比べて、23年度は7,900万円ほど費用が増え、また対象者の人数も増えて今後減ることはないが、元気老人が地域で支えあえるように、健康づくり推進課の健康企画班や包括支援センター班と連携し健康づくり事業に力を入れて、医療費の抑制・介護のスタートを遅らせ、重症化させないことを目標に取り組んでいます。

(福祉課)

問 健康福祉常任委員会は施策評価で就労支援に力を入れるように指摘しましたが、23年度の就労支援の状況と成果は。

答 住宅手当緊急特別措置事業で県の補助をえて就労支援員を一人嘱託で雇用して就労支援と、生活保護の就労の相談を行っており、

23年度はケースワーカーと就労支援員が連携を取りながら自立に向けた支援を行った結果、保護世帯からの脱却が7件ありました。

(健康づくり推進課)

問 発達障害が増えている中で、「心理相談事業」と「健康相談事業」の現状は。

答 心理相談事業は、ここ4・5年ずつと増えてきている状況なので、相談回数を少しずつ増やして予算計上している。1回の乳幼児健診の中でも多いときは心理相談の案内をする子どもが4・5人いたり、動きがかなり激しい・言葉が出てこないなど親御さんもかなり心配されている。幼稚園や保育園から事前に連絡があつて健診を通じてつなげないかということがあり増えています。5人の先生に1日3枠で心理相談をしてもらっているが、就学前の子どもは検査が2枠を取ってしまう。健康育児相談は、お母さんたちがあまり思っていない場合は、健康育児相談に来られませんか誘い、少しずつ身体面・心の発達面を見守るための案内や訪問・電話のフォローをしています。

文教常任委員会



西合志南中学校新体育館視察

平成24年度合志市一般会計
補正予算について

(学校教育課)

問 学校教育費の学校司書とは。

答 司書の年度途中での異動については、病氣療養中の休職や産休の職員がおり、業務に支障をきたさないためである。

訴えの提起について

問 学校用地の未登記について。

答 西合志中央小学校用地が、所有権移転登記がされていない土地が判明したためである。

平成23年度合志市一般会計
歳入歳出決算について

(学校教育課)

問 がんばる先生支援事業とは。

答 各学校において職員が自主的に自己啓発、能力開発のための先進的、専門的な研修会への参加が主なものである。

問 要保護、準要保護児童生徒就学支援事業について。

答 認定件数と周知の方法については、小中学校で平成20年度346件、平成21年度386件、平成22年度446件、平成23年度466件で、周知の方法はチラシを全児童生徒へ配布している。

(生涯学習課)

問 社会教育委員活動事業について。

答 執行率の59・2%については、市社会教育委員会の会議や九州管内の社会教育研究大会への参加者が少なかったのが原因である。

問 市主催行事託児事業について。

答 11・2%の執行率については、平成23年度は子育て中の市民が参加するイベントや研修等が少なかった。

問 自治会公民館補助金について。

答 モデル公民館補助金については個人や団体等、地域ぐるみの公民館活動を対象とするもので、平



ふれあい緑地駐車場現地調査

成23年度は後川辺区、南陽区へ補助金の交付をした。

(人権啓発教育課)

問 ハンセン病啓発事業の成果と取り組みについて。

答 講演会に参加された方のアンケートでは「初めて参加して勉強になった」、「命について改めて考えさせられた」、「かわりたくなかった自分が恥ずかしく思います」等の声が寄せられて十分成果は出た。

問 人権啓発運動団体運営支援事業について。

答 あらゆる差別をなくしていくための補助金である。



新学校給食センター

反対討論 部落解放同盟合志支部及び全日本同和会合志支部への支出並びに解放子ども会学習会事業の支出は、一部の地域での学習会開催は不平等であるし、本市全体の学力向上に使うべきである。
賛成討論 あらゆる差別の問題の解決に向けての事業なので必要であり、差別に負けない力強い子どもたちを支援するために必要な事業である。人権が尊重される、質の高い人権教育に取り組むべきであるとの要望も含めて賛成である。

議会活性化調査研究特別委員会



委員会風景

平成23年6月議会で本特別委員会が設置され、7月20日（水）の第1回特別委員会において左記の8項目を審査項目とし、小委員会制による分割審査を行なった。

一 議会運営、議会審議のあり方について

常任委員会主義を採用していることや活発な議論、厚みある審議が必要という観点から、来年度から3常任委員会へ編成すべきである。

二 議員報酬に関するについて

議員の専従職としての専門性を有していることを踏まえ、「特別職報酬等審議会」の常設と定期的な開催を行ない、議員を含む特別職等の報酬のあり方や条例改正を含めて検討していく事とした。

三 費用弁償に関するについて
基本的には廃止か縮減の方向で考える。現状では地方自治法により支給できる事になっているが、今後の検討事項とした。

四 議会基本条例に関するについて

条例を制定する方向で、先ず出来ることから議会改革を行なうべきである。制定過程においては改革先行型であり、議会改革を継続して行ない積み重ね、これらの議会改革を将来に亘っても持続させると共に、更なる議会改革を継続するために制定すべきである。ただ自治基本条例が制定されており、第3章に「議会の役割と責務」がある。内容を充実させた規則等を再審議したほうが妥当という意見もある。よって今後の検討課題とした。

五 政務調査費に関するについて

使途基準の設定、報告書のチェック体制整備等も必要であり今期は見送る。当然、議員として視察調査研究により政策立案し市政に反映する事は重要な責務と考える。また会派に対して支給するかなどの課題もあり、今後の検討事項とした。

六 通年議会に関するについて

今期は導入しない。今後、自治体

の動きや議会事務局、執行部の業務にも新たな負担が加わる事などが予想され、今後の検討事項とした。

七 会派制に関するについて

政策立案能力の向上を図るため、視察研修や勉強会を実施することが議員として重要であることから導入する必要がある。但し、一人会派の取り扱いや議会運営委員会の構成に関する問題もあり検討事項とした。

八 議会活性化に関するについて

・インターネット中継の必要性について

情報を速やかに公開し開かれた議会運営に努めなければならない事から必要である。但し、どれだけの市民に利用していただくかが問題である。



講師を招いての勉強会



大牟田市議会での視察風景

る。また、公の施設で視聴できるようにすることも重要であるとした。

・議会報告会に関するについて
3月議会後の予算報告会を開催することが望ましい。開催場所については常任委員会別、地区割り等で検討する。

・広報「きずな」に関するについて

インターネット中継に予算が必要でありコスト削減すべき。但し、広報「きずな」も重要な情報伝達手段であり検討すべきとした。

以上で議会活性化調査研究特別委員会報告といたします。

一般質問

General question

総合グラウンドの環境整備をして
にぎわいのあるまちへ！

濱口 正暁 議員



濱口 学童野球、サッカーが部活動として、盛んに行われている。健康都市こうし、更には市の活性化のためにも各種大会が本市で多く開催されることを望むが、現状は少ないように見受けられる。駐車場スペースやトイレ、誘導サイン等の環境整備に問題があるのでは。

生涯学習課長 市内には多目的グラウンドが9施設、専用野球場が1施設、テニスコート2施設の計12施設があり、利用者も1施設当たり月間1,000人～3,000人、多い所では5,000人の利用もある。市のにぎわいのためにも大きな大会を招致するには、駐車場の不足は否定できず、今後検討が必要と考えている。

濱口 新規計画も含め、総合グラウンドの整備計画はどうなっているか。

生涯学習課長 現在グラウンド利用促進検討委員会で福岡、佐賀の先進地複合総合グラウンド等も視察し、包括協定を結んでいる民間施設の利用も含め、そのあり方を今年度中に市長に答申しようとしている。



第4回こうし杯学童野球大会開会式

県の地下水保全「許可制」
導入とは

濱口 熊本地域（11市町村）は生活用水のほぼ100%を地下水に依存している。県地下水保全条例の改正で、10月1日から地下水の大口取水に対して「許可制」が導入される。条例改正の内容と本市での影響は。

環境衛生課長 地下水は「公共水」との認識に立って、①水質の保全（硝酸性窒素等汚染対策の推進）②水量の保全（地下水採取の許可制の導入・合理的な使用・地下水の涵養を義務付ける）③措置命令や罰則の追加をして、これから事業者、県及び県民が連携・協働して地下水保全に取り組む体制となる。

来るな、飛ぶな

オスプレイ

今村直登 議員



就園奨励制度とは

今村 公・私立幼稚園に通っている児童のいる家庭には就園奨励制度がある。これについて説明を。

子育て支援課長 保護者の所得状況で経済的負担を軽減するとともに、保護者負担の格差の是正を図るもので、約8割の方が受給されています。

「子育て新システム」について

今村 費用負担は。

子育て支援課長 現行どおり、児童の年齢、入所人員に対し委託料を継続して支払い、保育料も市町村が徴収しています。

今村 入園の申し込み等は。

子育て支援課長 現行どおりです。

今村 新システムでは、施設の増設、新設する場合、補助金が出るか。

子育て支援課長 現在は安心子ども基金により、整備を行なっているが24年度でこの制度は終わります。

今村 営利企業の参入については。

子育て支援課長 参入可能となっている。許可は県が行いますが、許可にあたっては市町村と協議を行な

い、市町村の子育て支援計画を策定することが義務づけられています。

今村 新システムでは保育の質が落ちるのでは。

子育て支援課長 施設の設備、職員配置などの運営基準の勧告等を行なうので、保育の質の低下はないと考えている。

オスプレイの配備について

今村 オスプレイが沖縄の普天間基地に配備されることに伴い、日本中で低空訓練が行なわれる。九州はイエロールートで山鹿市、菊池市、阿蘇、美里町がルートになっている。合志市には、黒石原に自衛隊のヘリコプター基地があり、ここが使われる恐れがある。市長はどう対応するのか。

市長 飛行ルートが発表された時点で、自衛隊に直接行って反対を表明し、県にも同様の申し入れを行なった。

短期保険証の窓口留置きは直ちにやめよ！

濱元幸一郎 議員



濱元 6月に国保税の増税を実施したことについて強く抗議する。払いたくても払えないという悲痛な声が市民からたくさん上がっている。国保税の負担を軽減すべきだ。

私は昨年の9月議会で、合志市が保険証の切り替えの時、国保税を滞納している世帯については市役所に相談に来ない限り保険証を渡しておらず（窓口で留め置き）、無保険状態になっていることを指摘して改善を求めた。また留め置かれている世帯の暮らしの実態について合志市がしっかりと把握することを求めた。この1年の取り組みはどうだったのか。

健康づくり推進課長 昨年度から税務課とも協力して戸別訪問を強化し、保険証を持っていない方がいないようにしてきた。しかしどうしても会えない世帯が24世帯あった。滞納世帯の生活実態については報告できる資料がない。

濱元 国からも長期間にわたる保険証の窓口留め置きを改めることを求める通達が出されている。私は「市役所に相談に来ないと保険証を渡さ

ない」というこれまでの行政の姿勢を改め、まず全ての人たちに保険証を届けその上で親身に納税相談に取り組むことが大事だと思う。保険証の窓口留置きはやめるべきだ。

健康づくり推進課長 税務課とも協議し、来年から短期保険証についても通年証を4月に送りたい。短期保険証には期限があるので、更新時期には市役所に来ていただくが、担当課が直接出向いていくこととしたい。4月は保険証を持っていない方がいないように、全てに保険証を送りたい。



さらに災害に強い安全・ 安心な街造りをめざして

松本 龍一 議員



神田 公司 議員

待ったなし！ 小中学校の分離・新設



ADDENDUM

松本 情報公開、国民的議論はなされているか。参加に向けた協議はどうなっているか。

農政課長 政府は都道府県ごとに説明会を行なったが、その内容はまだまだ不十分で、国民的議論がなされたとは言いがたい。引き続き情報公開を求めていく必要がある。参加に向けた協議は、多くの問題を抱え、年内の交渉妥結は断念している模様だ。

松本 今年は世界的な干ばつで、穀物価格が上昇している。合志市内の畜産農家にとって、輸入飼料の高騰は死活問題となり、また国民生活にとっても影響は大である。世界的に農業生産が不安定であるから、国内農業を守り、輸入依存度を下げていかなければならない。

7・12豪雨 川の被害と今後の対応は

松本 合志市で川というと、塩湊川、堀川が上げられる。川は雨水の流れつく最末端であり、治水の要である

と思うが、今回の豪雨の被害と今後の対応はどうなっているか。

建設課長 塩湊川では、一部堤防が決壊し、また湍水により田畑が冠水し、農作物に被害が出た。今後、県に実態を報告し、改善を要望していきたい。堀川については、沖野遊水池、花立にある遊水池によって、氾濫がおさえられた。

松本 堀川については、住宅地の中を流れる川であり、今後開発が進むと川に流れ込む水の量が増えるのではないか。さらなる安全を担保にするため、遊水池の調整も検討すべきではないか。

建設課長 県に、このような要望があったことを伝え、今後検討していきたい。



堀川と沖野遊水池

神田 現在の合志中学校区の小学3年生が合志中に4年後(平成28年)入学すると、今の合志中の3年生を110人上回る。それに住宅開発で40人ぐらいを足すと150人。4年後合志中の1年生が340人という想定が出る。こうしたデータ(合志市の児童生徒数・住宅開発での世帯数)集計でも10年、15年後の児童生徒の推移はある程度予測できる。10年、15年、児童生徒数の推移と大規模化への対策、検討されている内容は。

教育部長 平成27年をピークに人口が、未就学児童で見た時、減少傾向に入るが、住宅開発に伴う転入、人口増加というのが考えられるので、なるべく早く予測を立てる必要がある。

神田 児童生徒数を分析した時5歳児が今一番多い。平成27年にピークを迎えるというのがよくわからない。最終的に小中学校の新設ということはどういう条件が必要なのか、どこをクリアしなければならないのか。

教育部長 学校の教育活動に長期間

支障をきたすことがある程度見えた場合には、学校の分離、新設についても検討をする必要がある。

市長 トップでデータを共有してどういった方向性があるのか、本当に校区の見直しが必要なのかな。または小学校をつくる方向になった時、どこにつくるのか。できれば私がトップになってコミュニケーションづくりをしていきたい。

神田 4年後には極めて厳しい状況になることを前提に検討し、年度内にも結論を出していただきたい。



大規模化が懸念される合志中学校

「子育て支援」 に明確な目標を！

坂本 武人 議員

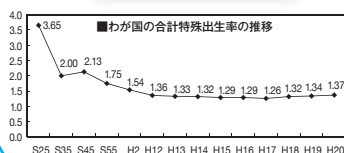


坂本 合併をして早や6年半、「子育て支援日本一のまちづくり」のスローガンを基本政策に様々な施策に取り組んでいるが、新市誕生の際、なぜ子育て日本一を目指すとしたのか、改めてその理由を確認したい。

市長 私が就任する以前のことであるが当初執行部に確認した際には、旧町間の合併協議会で提言された指針であり行政側が主導したものではないということ。私自身においては

「未来輝く産業定住拠点都市」という本市最大の眼目を達するため、子育て支援強化により若い世代の方々に市内への転入・定住を促し人口増を狙っていくということで、目的は明らかであり理由だと考えている。

坂本 合併の理由自体、少子高齢化による社会保障費の急増を抑制することが最大の理由であり、子育て支援を徹底することが、生産年齢人口層の拡大につながり、ひいては高齢化率の平準化に寄与するという狙いがあった。つまり「子育て支援日本一のまちづくり」を標榜した真意は人口動態の是正、少子化対策である



市長 短い合併協議の時間の中で子育て支援に対する明確な目的が詰められなかった経緯に鑑み、待機児童や小中学校の増新設の問題も含め、人口計画という概念を持ちながら即座に集中して議論し対応を考えていきたいと思う。

と言えるが、残念ながら現在、本市の既存の計画に合計特殊出生率及び転入定住世帯数に關しての具体的目標数値が存在していない。従って少子化対策と実際の子育て支援施策が互換しないという実態がある。今後、子育て政策の方針として所謂、児童福祉と少子化対策は分けて考え、それぞれ目標を設定し目的管理に努めていただきたくご提案申し上げるが見解や如何に。

かえでの森こども園 の支援策は？

坂本 早苗 議員



坂本 菊池恵楓園内にかえでの森こども園が開設されたが、通園するこどもは少ないと聞く。環境整備のできていない無認可保育園への支援はできないのか。

子育て支援課長 認可外保育施設活用事業で市が入所、保育料の決定を行い、30人程度の受け入れをお願いしたい。この事業は継続していく。

坂本 保育ママ事業の内容は。

子育て支援課長 グループ型の保育ママ事業を無認可保育園2か所で見守り実施予定。3歳未満児を対象とする。



かえでの森こども園

職場の環境を良くするために全員の研修参加が必要では。

総務課長 臨時・非常勤職は残業や苦情処理の対応もないのでメンタルヘルスの研修は考えていない。

坂本 23年度の職員健康診断結果は受診者485名中、異常なしは21名。7名がメンタルの病気休暇中。職員の健康管理についての対策は。

総務課長 健康を維持するには自分の生活習慣を見直すことが必要。今後は職員の健康に対する意識改革を促していきたい。

坂本 今年はまだ一度も衛生委員会が開催されていないが。

総務課長 労働安全衛生規則では義務付けではなく、努力義務となっている。通常年に2回開催している。

坂本 「健康都市こうし」を掲げ、住民の健康づくりに力を入れている。市長は職員の健康管理についてどうお考えなのか。

市長 自分の体を自分で管理できない人が公務員で人様のお世話ができるか基本中の基本。私自身朝から5時に起きて散歩している。

「健康都市こうし」 職員の健康管理は大丈夫？！

庁舎の一元化と 防災対策

木場田孝幸 議員



二 庁舎の一元化について

木場田 合併協議会のなかで、当面の間分庁方式で、となつていているが、当面の間を何年とみるのか。そろそろ庁舎の一元化を検討する時期ではないか。

市長 当面の間をどれだけ当面とみるのか、これが答えだというのは、持ち合わせていない。職員の一元管理に正直苦労したし、市民サービスで皆様が情報をどこか1箇所で見れるというのは、大きな要点だろうと思う。庁舎を建てる、建てない、増改築等、全て今白紙の状態、財政も含め、今後検討は必要と思つてゐる。

九州北部豪雨災害の 対応について

木場田 7月の豪雨時の対応で、職員、市民への情報伝達は、うまく行ったと思うのか。

総務課長 職員の召集、伝達については、各局、課の配置体制表も作成しており迅速な対応ができたものと判断している。市民への情報伝達は

防災行政無線にて、14日に2回災害等の注意喚起を行った。一部避難指示区域への伝達は、一時避難場所を開設し、職員を配置し、区長、地元消防団の協力を得て各対象世帯を訪問し避難指示を行った。

木場田 大雨は11日の夜中より降つていたのに、12日の放送では遅すぎる、反省検討を求める。また災害現場への職員並びに公用車に、市職員と判別出来るようなベストや黄色の回転灯などを、装備出来ないか。

総務部長 提案の市の名前を入れたベストや腕章、公用車への脱着式の回転灯など整備する方向で検討していきたい。



親も学ばんと 良か子に育たんと

来海 恵子 議員



来海 教育基本法が改正され、家庭教育が新たに加えられました。

第十条第二項、国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。県は、「親学びプログラム」に力を入れていきます。これは発達段階によって、「乳幼児時期編」「小学生編」「中学生編」のほか、中学生が対象の「次世代編」では仲間づくりや親子のかかわり方などを体験型で学びます。合志市も是非、家庭の教育力向上を目指して積極的に取り入れていただきたいと思ひますがいかがでしょうか？

教育審議員 子育ての主役は親です！「熊本の親の学びプログラム」は子育てのポイントをできるだけ身近な話題からという体験学習を踏まえた講座で、菊池教育事務所の社会教育主事が進行役になって研修会を無料で行います。菊池管内でも、今年ですでに1,000人の受講があつ

ており、是非、合志市でも全ての学校でPTA研修会・就学時健診・地区懇談会など多くの保護者が集まる中で実施をしていきたいと考えています。

来海 家庭の教育力向上、子どもたちを健やかに育てるためには、教育委員会と子育て支援課・健康づくり推進課・社会福祉協議会などの連携が不可欠だと思います。

健康福祉部長 ご指摘のように、幸いに身籠つて出産し、育て、また自分が親になっていくことは重要です。機会あるごとに行政が親御さんたちに接することがたくさんありますが、その中で心配事をつまく受け止め、教育委員会と連携して子育てのしやすい市になるように頑張つていききたいと思ひます。



笑顔あふれる家庭が一番！

人権尊重都市宣言について

松井美津子 議員



松井 ハンセン病啓発講演会「しがまっこ溶けた」に参加し、桜井さんの過酷な環境の中でもまっすぐな心で人生を乗り越えられ

る生き方に圧倒されましたが、アンケートの市民の集約された声と今後の啓発について。



人権啓発教育課長 「自分の良心に嘘をつかない生き方をしたい」「人の心の弱さ、醜さを思い起こした」「自分の心にある差別の心を問う必要を感じた」など、素直な感動と素敵な講演会がありがとうございましたとの感謝の声があり、今後DVDの貸し出しや、出前講座等での啓発に努め、参加の方法も工夫したい。

松井 市民サービスについて職員は、市民全体の奉仕者であるが、市民のパートナーとして、質の高い職員を目指すための職員研修事業は、費用

対効果が出ていますか。

総務課長 メンタルヘルス、人事評価制度、市政、人権教育研修等は費用対効果はでている。

松井 住基カードの多目的利用で「便利、簡単、安心なコンビニ証明交付サービス」に取り組んでは。

市民課長 国において「マイナンバー制度」が検討されているので現在多目的利用は考えていない。

松井 全国的に増える空き家に対して条例の制定も含めて本市の現状と、空き家バンクについて。

総務部長 本市では、2,140戸の空き家が存在し、1戸建てが620戸ある。条例制定を検討する。

商工振興課長 空き家バンクが空き家対策の効果的な手段の一つになるので導入に向けて検討していく。

松井 生活保護のキャリアサポートについて。

福祉課長 就労支援員を設置し、生活保護受給者の自立助長に向けて取り組んでいる。

道路ネットワークにソフト面でビジョンを

上田 欣也 議員



上田 合志市重点区域間利用計画書によると「公共交通でつながった階層型多極集中拠点による都市構造」として徒歩または自転車を使って、またバス網によって便利に移動できるようにするとあるが、その元になる道路ネットワークについて具体性がない。

市長 道路計画は企業誘致や新しい団地を作る

ことなどと併せて提案すべきものであるが、道路をいたずらに作るほど、今財政に余裕はない。

上田 集中豪雨等で急激に冠水する地域の把握と総合的な対策は。



住宅開発と交差点改良

建設課長 実態に合わせ、上下水道課、県その他関係機関と協議し、調整池設置など全体的な雨水計画を作るよう努力したい。

上田 包括協定先の大学の先生から

雨水排水対策などの提案を引き出してもらいたい。次に新しい学校給食センターはオール電化であるが、太陽光発電設備を導入することで電気を節約すべきではないか。

教育部長 設計段階と状況が変わり、既に導入を検討している。

上田 エコエネルギーの導入に関する事業プランを公募したり、包括協定の大学などによる社会実験のテーマとして意見を聞くことも考えてはどうか。次に、学校では食育に関する計画は作成されているか。

教育部長 年度当初の学校経営案の中で食に関する指導計画も盛り込んでいる。

上田 熊本県健康食生活・食育推進計画は各市町村にそれぞれ計画策定を求めている。「健康都市こうし」を掲げる以上、健康づくりや地産地消などを始め全庁横断的なプロジェクトとして取り組むべきではないか。

健康づくり推進課長 25年度に食育推進計画も盛り込む形で健康増進計画を策定する予定である。

囲碁を小中学校の部活に取り入れたらどうか？

後藤修一 議員



後藤 小中学校の部活の目的は。

指導主事 スポーツ、運動や文化に興味を持った児童が同じ目的を共有し、心技体を磨き、心身共、健全な人格を形成すること。

後藤 部活の体験が将来児童たちに与える影響は。

指導主事 部活動で学んだ挨拶や礼儀、そして忍耐力や連帯感により将来豊かな人間関係を築いてくれる。

後藤 囲碁を部活に取り入れたらどうかという提案です。囲碁は日本では今から千三百年ほど前、奈良時代くらいにも合志が誕生したところ遣唐使として活躍した吉備真備が中国から伝えたと聞いております。また、平安時代には、貴族のたしなみとして好まれ、枕草子、源氏物語ではしばしば囲碁の描写が出てまいります。江戸時代には將軍自らの御前でお城碁が打たれました。囲碁とは武道と同じく礼に始まり礼で終わる素晴らしいゲームです。そして老若男女問わず誰でも碁が打て、お金もかかりません。さらに最大の効果は集中力が

養われ、考える力が身に付くと言われております。文化的で情操教育にも役に立つ囲碁をぜひ部活に取り入れていただきたい。

教育長 地域の方で囲碁の得意な方に協力をいただき、学校の教育の中にボランティアとして活用できるのではないかと考えている。

後藤 囲碁は右脳が鍛えられ、きれいなものをきれいだと感じたり、人にやさしくできたり、ひらめき力がアップします。さらに、相手を思いやる気持ちが出てくると言われております。囲碁を始めれば、いじめがなくなるかもしれません。ぜひ囲碁を学校の部活に取り入れて下さい。



信頼と安全の

合志市

尾方 洋直 議員



合志職員の飲酒運転撲滅対策

尾方 この1年合志市以外の各地域で公務員が飲酒運転に因る重大な人身事故が発生している。職場や家庭等で日常的に互いに認識する事が何より大事である。役所の幹部、教育者に依って事故が繰り返される。市職員に対しての指導内容を問う。

総務課長 市役所では事あるごとに綱紀粛正や注意喚起を行っています。具体的には深酒しない、午後10時過ぎたら飲酒をやめることを職員に指導しています。

市長 痛ましい事故が無いよう365日常に注意が必要であり全庁舎に抜き打ち検査用のアルコール検知器を配置し、検知した場合、即刻処分します。



アルコール検知器

いじめ問題の対応について

尾方 合志市内の小中学校児童がア

ンケート調査に誰からかいじめを受けたと認識していると答えた児童が800人以上(約15%)いるとの結果が出ております。学校現場で子どもに対して授業、そしていじめ解消について問う。

教育審議員 本市でも不登校対策委員会を年3回実施しています。メンバーは校長、担任他、総数20名で組織されいじめ、不登校問題の現状そして具体的な対策を立てた上で解決の為学校、家庭、地域それから関係機関の連携、協力を図りより丁寧な情報交換を行って対策を講じています。

尾方 文科省で全小中学校にコミュニケーションスクール導入を促しています。本市では行っていますか。

教育審議員 本市では地域の方がいろんな行事に参加され、学習支援もしていただく、そうしたことで学校の教育活動が充実して子どもたちが本当に学校は楽しいと思って毎日を送ることで問題も少なくなりコミュニケーションスクールは効果があります。

追跡 あん質問はどぎゃんなった？

一般質問で取り上げられ、実現した課題をご紹介します。



▲改修された泉ヶ丘体育館

泉ヶ丘体育館改修工事 平成23年12月工事開始 平成24年3月完成

泉ヶ丘体育館の雨漏りがひどい。カーテンや休憩室の椅子もボロボロ。利用者の「なんとかしてほしい」という声は行政にも届いているはず。早急に補修できないか。

(平成22年9月議会での一般質問)

執行部答弁

泉ヶ丘体育館の雨漏りについては管理人さんからも報告を受け、担当課でも確認した。

利用者の皆さんにご不便をおかけしないよう、出来るだけ早急に改修したいと思っております。

妙泉寺公園の階段部分に 街灯と手すりを増設

妙泉寺公園から上須屋に上がっていく階段に手すりのないところがあり危険なので早急に設置を。また階段部分で街灯がなく暗い部分がある。危険なのでぜひ街灯設置をすべきだ。

(平成24年3月議会での一般質問)

執行部答弁

出入り口に階段のある公園については利用者の方への配慮ということでバリアフリー化を図っている。指摘された部分についても現地調査を行い必要性を感じているので、早急に設置する。



▲妙泉寺公園の手すり



8月18日(土)、農業公園カントリーパークで開催されました。25,000人の来場があり、出店やステージイベント、合志市音頭総踊りに賑わいました。

合志市夏祭り



8月18日(土)、午前9時から菊陽杉並木公園さんさんスポーツ広場で菊池地域2市2町の議員相互の親睦と融和、健康増進をはかるためグラウンドゴルフ大会が行なわれました。

菊池地域議会議員親善スポーツ大会



9月8日(土)、午前9時から総合センター「ヴィーブル」で開催され、合志市内の企業から33チームが参加しました。

企業等連絡協議会ミニバレーボール大会



9月25日(火)、午前10時から新しい体育館で落成式が行なわれました。新体育館はアリーナが拡張され、2階には多目的に使用できるスペースを設けられました。

西合志南中学校体育館落成式



10月14日(日)総合センターヴィーブル全館で開催され、約1,800人の子どもたちが集まり、各コーナーやショーを楽しみました。

第7回子どもフェスティバル

議会の動き

(7月～9月)

【7月】

- 5日 議会広報調査特別委員会
- 6日 議会活性化調査研究特別委員会《第3小委員会》
議会活性化調査研究特別委員会《第4小委員会》
- 9日 総務常任委員会
議会活性化調査研究特別委員会《第1小委員会》
議会活性化調査研究特別委員会《第2小委員会》
- 10日 議会活性化調査研究特別委員会《第2小委員会》
- 13日 産業建設常任委員会
- 19日 議会広報調査特別委員会
- 20日 議会運営委員会
全員協議会
議会活性化調査研究特別委員会
総務常任委員会
- 26日 議会広報調査特別委員会
- 27日 佐賀県神埼市議会より
「子育て支援事業について」視察研修
菊池地域市町議会 正副議長、正副常任委員長、
正副議会運営委員長研修会(菊池市)
- 30日 全員協議会
常任委員会
兵庫県朝来市議会より
「行政評価システムについて」視察研修
第1回臨時会
- 31日 総務常任委員会

【8月】

- 1日 議会広報調査特別委員会
神奈川県伊勢原市議会より
「市議会運営について」視察研修
- 3日 菊池郡市議会議員勉強会(菊陽町)
- 16日 健康福祉常任委員会
- 17日 総務常任委員会
- 18日 第6回菊池地域議会議員親善スポーツ大会(菊陽町)
- 20日 議会活性化調査研究特別委員会
産業建設常任委員会
文教常任委員会
- 21日 熊本県北市議会連絡協議会(菊池市)
- 23日 蒲島熊本県知事との意見交換会(県庁)
- 24日 議会運営委員会
- 31日 議会運営委員会
第3回(9月)定例会開会
全員協議会
議会活性化調査研究特別委員会

【9月】

- 4日 議会活性化調査研究特別委員会
- 6日 議会広報調査特別委員会
- 21日 第3回(9月)定例会閉会



平成24年第4回定例会日程(予定)

お知らせ

次回の定例会は12月3日からの開催となります。
ぜひ、傍聴においでください。

月	日	曜	会議名	主な内容
	3	月	本会議	市長提出議案上程及び説明
	7	金	本会議	質疑、委員会付託
	10	月	常任委員会	付託事件の審査
	11	火		
12	13	木	本会議	一般質問
	14	金		
	17	月		
	19	水	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、表決)

※日程は、変更になる場合があります。

表紙のはなし



須屋区成人会は会員42名。自治会イベントのお手伝いや地域のボランティア活動に汗を流しております。

地産地消条例制定に伴い 市内農産物販売・利用店紹介



・菊池のまんま合志店 (カントリーパークそば)



・ユーパレス弁天直販所 (ユーパレス弁天内)



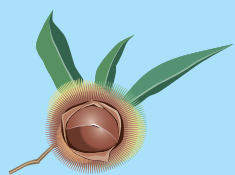
合志市地域ブランド認証「うまかもん店」現在、市内に12店あります。左ののぼりが目印です。
一度お立ち寄りされたいかがでしょうか。

議会だよりに対するご意見は

合志市議会事務局 電話 **096-248-1111** (代表)
248-2038 (直通)
Fax **096-248-2047**
メールアドレス **gikai@city.koshi.lg.jp**

議会広報調査 特別委員会

委員長 島田 敏春
副委員長 後藤 修一
委員 濱元幸一郎
委員 松本 龍一
委員 西嶋 隆博



平年並、普通が一番と思います。
お願いするところがあればお願いしたいものです。

秋が過ぎ冬になりますが、今迄になかったような寒さなどないようになりたいものです。

9月末から10月始めにかけては、台風もいくつか発生し、どの方向に進むのか大変心配していましたが、運よく私達の地域から遠く外れましたので被害ありませんでした。

今年の夏は、今迄になかったような、大変暑い日が続きました。秋が来て、涼しくなるのだろうかと思っていまいたが、10月になって朝夕はめっきり冷え込むようになり、虫の鳴声も聞こえるような秋になったようです。

編集後記



合志市議会だより **きすな**
No.27 2012年11月15日

〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140
TEL (096) 248-2038 URL www.city.koshi.lg.jp/
発行/合志市議会 編集/議会広報調査特別委員会